



# 関西珠洲会だより

## 関西珠洲会

発行責任者  
会長 宮崎 和夫

### 関西珠洲会主催 能登復興応援の集い

令和6年11月17日(日) シテイプラザ大阪にて、関西に二次避難している被災者もご招待し、会員、ゲストを含め総勢100名にて「能登復興応援の集い」を開催しました。

北沢事務局長の司会進行により、冒頭に元日の能登半島大地震、9月の豪雨被害で亡くなられた故郷の犠牲者を悼み黙祷を行いました。宮崎会長が挨拶し、これまでの関西珠洲会としての支援内容を報告し、これからも復興までの長い支援を誓い、今年例年開催している関西珠洲会の総会・懇親会を「能登復興応援の集い」に変更した趣旨を説明しました。

泉谷珠洲市長にも会場まで駆けつけて頂き、現在の復興状況についてご報告頂きました。また、関西石川県人会連合会 東会長からは祝辞、激励を頂きました。

続いて、大谷小中避難所の川端孝本部長に「発災から現在まで」と題して講演して頂き、馬縞きりこ太鼓保存会による「馬縞キリコ太鼓」の迫力ある演舞も披露されました。

二部の懇親会では、珠洲市議会 番匠議長の発声で乾杯で宴がスタート。避難者の方へのインタビュー、関西珠洲会への新入会員の紹介、ふるさと製品の販売等で盛り上がり、最後は全員で「故郷」を合唱、坂本顧問の挨拶で懇親会はお開きとなりました。

三部として、富田会計の司会進行により、避難者の皆さまとの懇談のお時間を取り、お互いに顔を合わせてこれまでのご苦勞等を語り合っていました。

お蔭様で盛大に開催終了し、故郷の復興支援の機運を高める集いとなりました。



関西珠洲会 宮崎会長の挨拶



珠洲市 泉谷市長が復興状況を報告

#### 【ゲスト】

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 泉谷 満寿裕           | 珠洲市長            |
| 番匠 雅典            | 珠洲市議会 議長        |
| 鍵主 哲             | 珠洲市物産協会 会長      |
| 川端 孝             | 珠洲市立大谷小中避難所 本部長 |
| 東 孝司             | 関西石川県人会連合会 会長   |
| 山下 幸則            | 石川県大阪事務所 所長     |
| 石田 雅浩            | 北國新聞社 大阪支社 支社長  |
| 秋川 雅信            | いしかわ観光特使        |
| 松島 ひで夫           | 関西能登町会 会長       |
| 地渡 政彦            | 珠洲同友会 副会長       |
| 大兼政 康秀           | 富山市二次避難者大谷代表    |
| 馬縞きりこ太鼓保存会       | 8名              |
| 関西在住の被災者、二次避難者の方 | 13名             |
| 被災者の支援者の方        | 2名              |



## 大谷小中避難所 本部長 川端様の講演

「発災から現在まで」と題してスライドで画像を見せながら講演して頂きました。大谷地区は孤立集落と言われたところで、道路が塞がれただけでなく、電話もネットも通じない状態となり、「孤立集落」と呼ばれていることすらわからないなか、本部長として様々な経験をされてきました。復興に向けて前向きに進み始めた矢先の9月の豪雨被害では、さすがに精神的に落ち込んだが、ボランティアの皆さんに元気づけられたとのことで、支援について感謝の気持ちも伝えられました。



## 馬縹キリコ太鼓の演舞

冒頭に被災してからの馬縹町の避難所の様子をスライドで紹介されました。

9月には豪雨被害も受け、様々な葛藤がありながらも神様に感謝の気持ちで「馬縹キリコ祭り」を開催。ボランティアの方にも参加してもらった新しい形の祭りだったとのこと。

演舞には関西に二次避難している中学生も参加。会場は故郷の迫力ある太鼓で大いに盛り上がり、感動し涙ぐむ方も多く、会場一体で復興を誓う気持ちが高まりました。

## 第二部 懇親会



関西に二次避難されている100歳の頼光いつ子さんと泉谷市長とご歓談



会場からも飛び入り参加してのアンコールの「馬縹キリコ太鼓」



ふるさと産品の販売も喜ばれ、たくさん買って頂きました！



## 第三部 二次避難者の皆さまとの懇談

避難者の支援者・関西珠洲会の会員含めて18名のご出席、1時間の短時間でしたが、初めてご避難者同士の顔合わせが出来ました。

まず、8名の避難者の方々が自己紹介、同席の福祉関係の方々も自己紹介し、その後自由に被災時の様子、避難後の生活、困っていること等を語り合いました。

会員や支援者の方からもサポートに関する意見等が出され、目標とした「顔見知りを作る、話してスッキリする、情報交換する」の第一歩となり、今後もこのような機会が必要と感じました。(進行係 富田会計)

来年は令和7年11月9日（日）に開催予定です！